



由利本荘市立岩城中学校 校報

いわき



第38号 2026. 1. 30(金)

不審者対応訓練をしました

30日(金)の5校時、不審者対応訓練を実施しました。この訓練は、校地内に不審者が侵入した場合の安全な避難行動について知ることや緊急事態が発生した際に自分の命と安全を自分で守る態度を身に付けることを目的に行いました。

訓練は、玄関から侵入した不審者が職員の制止を聞かずに2階の教室に侵入したという想定で行いました。侵入の状況を生徒や教職員だけが分かる合図で知らせ、すぐに教室への侵入を防ぐためのバリケードを設置しました。職員はさすまた等で対応し、時間を稼ぐ間、生徒は避難態勢を整え、食堂に避難しました。

子どもたちは、事前に確認された合図をよく理解し、適切な判断で避難行動をとることができていました。また、協力しながら素早くバリケードをつくることができていました。食堂への移動も整然としており、安全に避難することができました。

今後も子どもたちの命と安全を守るために、様々な場面を想定した訓練を含めた安全教育の充実を図ってまいります。



今日の授業 (1/24)

冬休みが明けて2週間ほどが経ちましたが、どの時間、どの教室に行っても子どもたちが熱心に授業に取り組む様子が見られます。

この日は、1年生が家庭科の時間に調理実習を行いました。煮込みハンバーグを手作りして、そのできばえを試食で確かめました。中学校に入学してから初めての実習でしたが、準備から片付けまで協力して時間内に充実した活動ができました。

2年生の保健体育では、『体ほぐし運動』に取り組みました。この運動は、体を動かす楽



しさや心地よさを味わうことで、自分や仲間の心や体の状態に気付き、体の調子を整えたり、仲間と交流したりするものです。グループごとに楽しみながら運動することができました。

3年生は、受験に向けていよいよラストスパートの時期ということもあり、一人一人が真剣に課題に取り組んでいます。ほどよい緊張感の中で、1分1秒を大切にしながら受験勉強と向き合っていました。



SC講話

29日(木)に3年生を対象に、受験期の心の安定を目的としたスクールカウンセラー(SC)による講話を行いました。テーマは「思春期・受験期からの過ごし方」です。

思春期・受験期にどんな過ごし方をしていくとよいかということについて、具体的な例をあげて、わかりやすくお話していただきました。不安や緊張が高まりやすい受験を控えたこの時期に、子どもたちが自分の気持ちとの向き合い方や相談することの大切さについて学ぶ時間となりました。

中学生は心が揺れ動きやすい時期です。本校では、SCだけでなくスクールソーシャルワーカーや学校関連系コーディネーターとの相談ができます。保護者の皆様は、進路だけでなく、お子さんに関する様々な悩みや心配事がありましたら、お気軽にご相談ください。

※相談窓口(教頭)



お知らせ

ご協力ありがとうございました

書き損じハガキ拋出運動にご協力くださいましてありがとうございました。書き損じハガキは切手等に交換し、県PTA連合会の運営・活動に活用される予定です。